

3.7.6 横須賀 ITS リサーチセンター

中期計画期間全体

目 標

高度道路交通システム (ITS) の早期実現のための研究開発を行う。
高速移動する自動車において様々な大容量の情報を無線ネットワークを通じて円滑に提供、享受することを可能とする技術の研究開発を目標とする。

目標を達成するための内容と方法

具体的な方法として、ネットワークに関する要素技術である「高能率ルーティング技術」及び車載端末の要素技術である「IPv6 対応マルチモード端末技術」の研究開発を行う。最終年度には、これらの技術を統合した実証実験を実施する。

特 徴

ネットワーク、インフラから端末までの技術を統合させて、システム全体として実証実験を行い、インターネット ITS の実現性を実証する。

今年度の計画及び報告

今年度の計画

平成 16 年度は、これまでの研究成果を踏まえて、総合的な実証実験を実施する。
実証実験としては、本プロジェクトの高能率ルーティング技術、IPv6 対応マルチモード端末技術の研究開発内容を、より具体的にイメージできるように、「シームレスプロファイル技術」、「メディア切替型 P2P 車両間通信技術」、「高機能無線アクセス技術」、「通信放送連携技術」及び「IPv6 対応車載端末技術」を利用したサービス例を実施し、どのような ITS サービスが実現できるかが実体験できるものを目指す。

また、10 月に名古屋で開催される第 11 回 ITS 世界会議において、走行デモをはじめとする屋外／屋内展示を行い、国内外に広く成果をアピールする。

今年度の成果

試作、実証を中心に、計画どおりに実施され、成果も当初の期待どおりに得られた。10 月には、これまでの研究成果を広く公開するために、名古屋で開催された ITS 世界会議に出展した。2 月には、これまでの研究開発成果を統合した、統合実証実験を実施した。また、今年度の研究開発活動で得られた成果は、特許 2 件、外部発表 21 件（うち国際会議での発表 5 件）にのぼる。さらに、視察・見学・研修等で、研究者・技術者・研修生が国の内外併せて 40 名（うち外国から約 73%）が当センターを訪れ、広く成果をアピールすることができた。



デモコース全景



実験車両内説明状況



実験車両 社内状況



実験車両走行状況

統合実証実験屋外デモの状況